

2024 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|------------|-----------------|----------------------------------|----------------|-----------------------|---------------------------------|
| 学 科 | 医療心理科 | | 科目区分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科目名 | 社会福祉の原理と政策 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担当教員 | 友居 和美 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 歴史を振り返りながら、現在のわが国の社会福祉のしくみや制度がどのように形成され、発展してきたのかを学習し、社会福祉の原理、思想、哲学と理論を理解します。「社会福祉とは何か」について考える視点を身につけることをめざします。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 試験70%、出席20%、平常点10%とします。その他、小テストを随時実施し、点数を評価に加味します。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 『社会福祉の原理と政策』中央法規 その他レジュメ、資料を随時配布します。また、授業内容に応じてDVD等の視聴覚教材、PCのパワーポイントを使用します。 参考図書は随時、講義中に紹介します。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 使用テキストを読んで講義内容の予習を行うこと、前回の授業内容を復習すること。 小テストを受ける際には、講義内容を復習して準備すること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 授業科目名のとおり、福祉は社会と密接に関わっています。自分の将来の職業選択のみならず、自分自身の現在の生活や将来設計とも密接に関係していることを認識し、授業だけでなく日常生活において福祉に関心を持つよう心掛けてください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の原理の意味とその展開について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | | テキストの目次、序章に目を通しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・社会福祉の原理とは何か。 ・社会福祉の歴史を学ぶ視点。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 欧米の社会福祉の歴史的展開について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・生成期、発展期、成熟前期、成熟中期、成熟後期、転換期 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 日本の社会福祉の歴史的展開について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・萌芽期、生成期、発展期、成熟前期、成熟後期、転換期 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の思想と哲学について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・社会福祉の哲学の考え方 ・イデオロギーと社会福祉 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の理論について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・社会福祉理論と社会福祉の定義 ・社会福祉理論の歴史的展開 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|----------------|---------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の論点について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉をめぐる論点の形式的把握 ・普遍主義と選別主義 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉の対象とニーズについて説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の対象としてのニーズ ・社会福祉の対象の史的変遷 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 現代における社会問題について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・貧困、失業、社会的孤立、偏見と差別、社会的排除と社会的包摂 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 現代における社会問題について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・依存症、自殺、ヴァルネラビリティ、ニューリスク | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会問題の構造的背景について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口構造と世帯構造の変化 ・社会意識と価値観の変化 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉政策について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉政策、ニーズ | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉政策において重要な概念・理念について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・自由と平等 ・自立と依存 ・インターセクショナルリティの視点 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉政策におけるニーズについて説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの種類と次元 ・ニーズの理論とその課題 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉政策におけるニーズについて説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの把握、公正の原理としてのニーズ | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 福祉政策における資源について説明できるようになる。 | 上記テキスト、配布レジュメ等 | テキストの対象箇所を読んでおくこと、配布資料を整理しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源の性質 ・現金給付と現物給付 ・バウチャー、ベーシックインカム | | |